

三好アドバイザーの授業を受けた 児童の感想

・阪神・淡路大震災の話を聞いて、改めて地震は怖いと思ったし、ちゃんと逃げられるように準備をしたいと思いました。地震で6000人以上もなくなったことを知って怖くなりました。

教えてくださりありがとうございました。

・阪神・淡路大震災でいろいろな人やいろいろな建物が崩壊し、大きな被害があったことを詳しく語ってくれたし、いろいろな画像や新聞を見せてくれたことで分かりやすくせつめいをしてくれました。

震災のことは僕達が語り継いでいきます。本当にありがとうございました。

・何千人もなくなってしまう災害だからこそ、いつ来るかわからないから、備えが必要だなと思いました。

これからも災害は来ると思うから近所の人、家族とも協力しあえたらなととても思いました。

・阪神・淡路大震災は大変だなと思った。「72時間の壁」は阪神・淡路大震災から生まれたのを初めてした。「人を二度死なせない」という言葉に納得した。道路とかは安全だと思っていたけれど、全然壊れるんだなと思った。地震とかで一番大変だと思っていたのは食料だと思っていたけれど、意外といちばん大変なのはお風呂なんだと思った。語り継ぐことやこの地震の経験を忘れないことが大切だと思った。

これからもこの学習のことを覚えておいて、みんなに伝えたいと思いました。

・阪神・淡路大震災でいろいろなひとが死んでしまい、多くの建物が崩壊したことなどをわかりやすく説明してくれました。

阪神・淡路大震災を経験して語りづらいことも話してくれたと思います。本当にありがとうございました。

・三好さんの阪神・淡路大震災の話を聞いて、地震が起こるとどんな事が起こるかということと、地震は、いつ来るのかがわからないのが怖いとおもいました。

災害が起こるときにどのような対策ができるかや、どんなふう取材をしたか、この震災で何人の人が犠牲になってしまったかなども知れてよかったです。それに、僕が死ぬまでに南海トラフ大震災が起こり、この辺の地域は最大震度6になるということも先生から聞いて、家に帰ったら、災害が起こったら避難する場所を家族と話し、家の家具などを固定して、バッグなどに災害のときに必要なものを入れたり、どのように逃げるかを話そうとおもいました。

地震のときに起こることや、対策を知れてよかったです。地震がなぜ起こるのかを、もっと詳しく知りたくなりました。

・阪神・淡路大震災のことを神戸新聞社のおかげで分かりました。保健の授業でも学ぶことだからしっかり勉強ができました。

阪神・淡路大震災の事をこれからもみんなの記憶に残るようにこれからも忘れずにいたいと思いました。

今日の授業を参考にこれからの人生に繋いでいきたいと思いました。

地震や土砂災害のときのために、携帯トイレや水や食料や新聞やラジオやライターや懐中電灯やさまざまな防災器具を揃えようと思いました。

インターネットにも騙されずに変な情報も流さないようにしたいと思いました。

今日の授業ありがとうございました。

これからにつなげていきたいです。

・今までは、ニュースで見て、えー怖いなーって思うだけだったけど話を聞いて、思っている以上に大変なことなんだなと思いました。

地震で6000人以上もなくなるということを知りました。

今まで、避難所に行ったらもう安全だと思ってたけど、話を聞いて、関連死というものを知って避難所に行っても、安全安心ということじゃないということを知りました。

教えてくださりありがとうございました。

・阪神・淡路大震災の一回で6434人が亡くなってしまうということを知った。

阪神・淡路大震災のことを教えてくださりありがとうございました。
・阪神・淡路大震災のことについて、改めて地震は怖いなと思った。避難所に逃げた人も、避難所で病気になったり、けがをしてそのまま死に至るということが一番嫌だなと思いました。

三好さんに教えてもらってびっくりしたのが長野県が地震が多いということです。地震が多くても海がないので津波が来ないのでまだいいほうだと思いました。

地震が起きたときの新聞紙で作るスリッパなどの対策は簡単にできるので、家でもやってみたいと思いました。自分が生きているうちに強い地震は絶対に起きると言っていたので、避難グッズを揃えておきたいと思います。

阪神・淡路大震災のことを詳しく教えてくださってありがとうございました。

今日話してくれたことを活かしていこうと思いました。

・高速道路が倒れていてやばいなと思った。亡くなってしまった人がいっぱいいてやばいなと思った。火事がヤバかった。震度が7でやばいなと思った。震度7は、すごい揺れていると思った。地震がすごい多いんだなと分かった。能登半島地震も、すごいやばいんだなと思った。

南海トラフ巨大地震に備えておこうと思います。

・色々教えてもらって阪神・淡路大震災のことが、めっちゃわかりました。

神戸新聞の三好さん、ありがとうございました。地震のこと、知らなかったこと、これから大切にしていけないといけないことがいっぱい知れました。

青森県の震度6強（2025年12月8日）だったり、2022年9月、台風15号のフェイクニュース、2024年1月、能登半島地震でのうその「生き埋めSOS」、2016年、熊本地震のときのライオン逃げ出し事件（うそ）などいろいろ。

1995年1月17日の阪神・淡路大震災の死者は6434人、起きた時間は午前5時46分52秒などが知れました。これからもっと家族や友達を大切にしていきたいと思いました。

・神戸や淡路島などがどれだけ多大な被害と悲しみに包まれたのか三好さんに教えていただいたことで今まで以上にわかった。

今まで阪神・淡路大震災の死者数が1000を超えているか超えていないかなどと思っていたが、6400人を超える被害がわかって、とても怖くなったし悲しくもなった。

今まで地震が起きたらテレビが倒れるくらいしか思っていなかったが、タンスやベッドが倒れたり滑ってきたりするなんて想像できないほどの恐怖だと思った。自分が、炎に包まれている神戸や、他の場所を見たら怖くてたまらないと思うし、それを見ても恐怖に包まれずにすぐに避難したり安全な行動を取れた神戸や淡路や大阪などの人がとてもすごいと思う。家具ならともかく、家やマンションやビルが全壊したり半壊したりしてそんな揺れを想像することが怖いし、そんな揺れから生き残った神戸や淡路の人がとてもすごいと思う。

自分はそんなに大きな地震にあったことはないけれど、地震は人の命を奪うほか、火事を起こしたり、大事な建物を壊したり、人にとっても害を与えることを三好さんが話してくれたことで改めて実感できた。

・ぼくは、地震の話聞いて地震の強さを感じました。

ぼくの国（パラグアイ）ではあまり地震がなかったけど、日本はたくさんあるということがわかったので、お父さんと地震のときにどこに逃げたらいいかを話し合いたいと思いました。

・三好さんは、災害について教えてくださいました。まず青森の震度6強と書いてあった新聞を見せてくれました。こんな大きい地震が100回に1回に起きるということがわかりました。その100回に1回起きることも気をつけないといけないということを学びました。

いつ災害が起きても準備できるようにします。

・地震がおきた時間の秒までわかっているのがすごいと思った。死んだ人が6434人いたことや、関連死の人が多く、72時間の壁など、そういう言葉ができるほどそんなに被害が大きかったんだと思った。

神戸新聞と京都新聞の災害協定が最初なのもすごいと思った。フェイクニュースも災害でたくさんの人が混乱しているから災害の時に広まるのかなと思った。

都会だとたくさん建物があるから倒れるものも多いし、線路や高速道路も多いから被害が大きくなるのかなと思った。

お風呂も大切と聞いて驚いた。人は二度死ぬなどの言葉もすごいと思った。今度、家でも対策をしたいなと思った。・

阪神・淡路大震災について教えてくれてありがとうございました。6階で寝ていたら死んでいたらかもしれなかったけど、2階で起きていたのがすごい強運だなと思いました。とても勉強になりました。ありがとうございました。これからも災害が起きててもすぐ対応できるようにしたいです。

・震災出前授業のおかげで逃げたらいい場所や逃げる場所に行くルートなどを考えられてよかったです。

それに非常用に新聞紙で作るスリッパの作り方を教えてくれたり、いっぱいのお話をしてくれたり、自分が体験した阪神・淡路大震災のことを教えてくれてありがとうございました。

家の下敷きになった人は何時間で死ぬかとか、逃げたほうがいい場所を考える機会をくれたりしてくれてありがとうございました。

・地震の出前授業をして何時に起きたか、その地震で何人亡くなったか詳しくしれたし、その地震が起きたからこそ受け継いでいく子供がいたり、少しでも地震のことを知ってもらうため小学生に伝えてそのとき起きた地震を忘れないようにするために勉強していた。

人は二度死ぬことをして、二度死なせないように死なないようにすることがわかった。

身近にいる人を大切にするためには、地震が起きる前に食べ物や飲み物、いろいろなものを準備したり、地図を見てどこに避難したらいいか考えたりすることが大切だということを知った。食べ物とか薬とかお風呂はどうするか知ったし、一番大変なのは、お風呂だということを知った。亡くなった子供のことを忘れないようにすることが大切だということ、火事が起きて消防車が倒れてきた家が道をふさいじゃって、通れなく消火できなくて大問題になったことがわかった。

今日の授業を通して、家族やみんなのためにできることをした。同じ小学生で亡くなった人を忘れないようにしようと思った。一番大変ことをしれたし、「ひとは二度死ぬ」ことをしたから、二度死なせないようにできることをしようと思いました。

・僕は、阪神・淡路大震災のことは前から知っていたけど、現地で実際に起きていたことを神戸新聞の三好さんに詳しく教えてもらって怖かったです。自分の家の前が燃えていたらすごく怖いのに、高速道路が倒れてしまったり、道が陥没してしまっていたところを取材に行くなんてもっと怖いと思った。地震の震度は、震度7とすごく大きい地震でたくさんの子供や大人がなくなったと初めて知ってびっくりした。たくさんところで火事が起きて消防車が足りないくらいと聞いて火事と地震のこわさを知りました。

すごくおっきい地鳴りが起きてから地震が起きたと知って、地震が起きたところにいなかったけど、その時のことを想像するとすごく怖いと思いました。神戸新聞の本社もきれつが入りガラスが割れた状態になっていたとしてびっくりした。そのせいでコンピューターなどが壊れちゃったけど、たくさんの方のおかげで、兵庫県の人に新聞が届けられたと思いました。

地震は防げないし、南海トラフは生きているうちに絶対起きるので、そのためにも早めの備えが必要だと思った。僕は、家の人達と避難所への行き方の確認と、防災バッグ・防災食料を準備しようと思った。

三好さんが言っていた「ひとは二度死ぬ」の意味がよくわかりまし

た。一度目は、人自体が死ぬことで、二度目は、その人についての記憶自体が忘れられることが二度死ぬの意味だと知って、忘れられることも人の死だとよくわかった。

今度は、僕が、地震について小さい子供に教えていく番だと思いました。今日の三好さんの授業のおかげで、地震の強さと苦勞がよくわかりました。今日はありがとうございました。

・わたしは、話を聞いてとくに「72時間の壁」と「人は二度死ぬ」が心に残りました。72時間の壁は、72時間の間に助ければ助かる、72時間の間に救えなかったら亡くなる可能性が高いと聞き、「じゃあいっぱい亡くなったんだな」と悲しくなりました。

「人は二度死ぬ」といわれたとき、え?となりました。けどその意味を教えてくださいました。それは、一回目は体が死んじゃう、二回目は、記憶から忘れられて死んじゃう。これを聞いて両方可哀想だと思いました。とくに記憶から忘れられて死んじゃうってとても可哀想だと思ったから、わたしも今回の話を語り継いでいこうと、思いました。

こういうことを教えてもらったから、わたしも聞かれたとき教えてくれたことを言おうと思いました。

・こういう地震などを小学生が忘れないように中学生が小学生に教えてあげていることが分かりました。

今もウクライナとロシアが戦争をしていて約4年経っていることが分かりました。

関西には「地震が来ない」という思い込みがあったからこんなに亡くなった人達がいるのかなと私は、思いました。こういう思い込みがあると、準備をしなくていいと思ったりする人達がいるのではないかと思います。

地震が起こった中でも新聞は、出さないと困る人達がいるから新聞社の人達も素早くやらないといけないのが、大変だと思いました。それなのに、機械が壊れていたから京都新聞社と協力して毎日毎日新聞を作って神戸新聞社で印刷をしてなど、たくさん難しかったかと私は思います。

地震の7カ月後に泉谷しげるさんがコンサートを開いて神戸の人達を励ましていたと思います。この地震は火事が多く、消防団がそこまでまわりきれないことがあったから、家やビルがたくさん燃えてしまったと思います。

新聞には、どこに行ったら手当てをしてもらえるかや、どこに行ったらお風呂があるか、どこに行ったら食料をもらえるのかが書いてあることが分かりました。

住民の人達が励ましてくれたから神戸新聞の人達も住民の人を励まそうとしているところが良いところだと思いました。

阪神・淡路大震災がテーマとなって作られたテレビドラマがあったことが初めて分かりました。

今日は、ありがとうございました。

災害報道のときに気をつけているところなどが分かりました。

・「伝える」、そして「忘れない」を意識しながら、話を聞いていました。戦争を知らない中学生が小学6年生に戦争について教えるのと、阪神・淡路大震災を知らない人たちが、防災やどんなことが起きたかを新聞などで伝えるということがいいと思いました。

フラワーロードのビルが斜めになっていたということを知って、怖いし、倒れてきたら死んでしまう。阪神の良いところが地獄みたいに思えてしまいました。その地獄で6434人がなくなってしまった、それが特に心に残っています。

「72時間の壁」、これも心に残りました。「72時間以上下敷きになっていると、なくなってしまう確率が高くなって、72時間以内だったら、生きる確率が高くなる」、これを聞いているときに想像したら怖くなりました。

森高千里さんが被災地に行って歌を歌ってのがすごいと思いました。

「72時間の壁」などのいろいろなことを教えてくださり、ありがとうございました。

今後いろんな事を教えてもらえたら光栄です。今日は、ありがとうございました。